

教育研究業績書

2024年10月22日

所属：建築学科

資格：講師

氏名：中村 優花

研究分野	研究内容のキーワード
建築意匠・歴史	仏教建築史、中央アジア、シルクロード、文化財
学位	最終学歴
博士	武庫川女子大学大学院 生活環境学研究所 建築学専攻 博士後期課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 作品展における学生による自主的運営の指導	2019年4月～現在	建築学部が主体性を持って企画する設計演習課題および卒業設計・修士設計の展示を行う作品展の、運営の指導、監督、助言を行う。学生の主体性と自主性を尊重し、学生の企画力、統率力、積極性、協調性の向上を図る。さらに、作品展に向けて学生の作品のフィードバック、手直しを促すことにより、就職活動やその他のポートフォリオの作成、完成度を高めることに寄与する。また、現地開催の様子をホームページに公開している。 https://arch.mukogawa-u.ac.jp/9723
2. イタリア パフチェシヒル大学における海外実習	2019年2月19日～2019年3月2日	2019年2月19日(火)から3月2日(土)の12日間、イタリアのローマ、フィレンツェなどを拠点に、修士2年生11名の引率を行い、保存修復関連の実務訓練を行った。2018年の実習では訪れなかった場所や建築物についての参考資料を追加で作成し、学生に提供した。毎日の実習の様子は、毎日ホームページの原稿を作成してリアルタイムで更新して公開した。また、実習終了後に実習の報告書を作成し、トルコ・パフチェシヒル大学に送付し、実習の成果を伝えた。 https://arch.mukogawa-u.ac.jp/5823
3. 授業内容のホームページでの公開	2017年3月～現在	建築設計演習や関連のフィールドワークの授業内容、担当した海外実習、業務で参加した国際会議等の内容を建築学科・建築学専攻ホームページ上で公開している。
4. イタリア パフチェシヒル大学における海外実習	2017年2月18日～2017年3月2日	2008年12月に締結したトルコ・パフチェシヒル大学との間の一般交流協定に基づき、パフチェシヒル大学と共同で実習の企画をし2017年2月18日(月)から3月2日(木)の13日間、イタリアのローマ、フィレンツェなどを拠点に、修士2年生10名の引率を行い、保存修復関連の実務訓練を行った。実習前には修士の学生が実習先の建築物について調査・発表をする、ゼミを実施したことにより、古代ローマ建築、初期キリスト教建築、ルネサンスおよびバロック建築についてより深く学べるよう指導した。毎日の実習の様子は、毎日ホームページの原稿を作成してリアルタイムで更新して公開した。また、実習終了後に実習の報告書を作成し、トルコ・パフチェシヒル大学に送付し、実習の成果を伝えた。
2 作成した教科書、教材		
1. 建築学科2年生前期 CAD・CG応用演習 I	2020年9月	CAD・CG応用演習において使用するマニュアルの更新と参考資料、3Dモデリングの作成
2. 建築学科3年生前期 建築設計演習Ⅲ「課題2：歴史的都市の宿泊施設」	2020年6月～7月	世界遺産の歴史都市ヒヴァでの宿泊施設の設計演習課題において、イスラム教の神学校「マドラサ」の空間構成についての解説、参考資料となるレジュメやPowerPointの作成、教員実践による参考作品の制作
3. 建築学科3年生前期 建築設計演習Ⅲ「課題1：三世代住宅」	2020年5月	参考資料となるレジュメやPowerPointの作成、教員実践による参考作品の制作
4. 附属高校生対象の建築史および日本と欧米の建築についての講義	2019年10月	附属高校のSSHコースの学生を対象とした建築史の講義において、ルネサンス建築物の解説および資料のPowerPointを作成した。(担当：森本順子、中村優)

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
5. 建築学専攻修士1年生後期 建築設計総合演習B「課題1: 歴史的遺跡の鞆堂」	2019年9月	花) 課題説明書、課題説明のPowerPoint、参考資料を作成
6. 建築学科3年生前期 建築設計演習III「課題2: 歴史的都市の宿泊施設」	2019年5月	世界遺産の歴史都市ヒヴァでの宿泊施設の設計演習課題において、イスラム教の神学校「マドラサ」の空間構成についての解説、参考資料となるレジュメやPowerPointの作成、教員実践による参考作品の制作
7. イタリア バフチェシヒル大学における海外実習の参考資料の作成	2017年2月～2019年2月	建築学専攻の建築保存修復インターンシップにおいて、イタリアのローマ、フィレンツェなどを拠点に、保存修復関連の実務訓練を行った。実習先の地図を1日ごとに作成し、歴史的建築物の位置関係や距離、移動時間などを学生が視覚的に認識し、各都市の特性についても理解できるようにした。また、古代ローマ建築、初期キリスト教建築、ルネサンスおよびバロック建築の図面や解説が掲載された図書の提供を行い、実習前のゼミおよび実習先の建築物の解説に活用した。
8. 建築学専攻修士2年生前期・修士1年生後期 建築設計総合演習B「課題1: 歴史的遺跡の鞆堂」	2016年4月19日～現在	パレスチナにある初期イスラム建築ヒシャム宮殿 Hisham's Palaceの遺構を風雨などの自然環境から保護し、その保存・展示・見学に寄与するための覆屋を企画・設計する課題において、ヒシャムパレスやその他のウマイヤ朝期の建築の特長についての講義スライドを作成した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 建築学部・建築学研究科 作品展指導	2021年4月1日～現在	建築学部および建築学研究科の学生が有志で運営する、設計演習課題・卒業設計・修士設計を展示する作品展の企画指導。
2. 建築学科・建築学専攻 作品展指導	2019年4月1日～2020年3月	建築学科および建築学専攻の学生が有志で運営する、西宮市民ギャラリーにおける設計演習課題・卒業設計・修士設計を展示する作品展において、学生が授業外の時間で制作に取り組むポスターやパンフレットのデザイン、展示計画、広報活動の指導を行った。
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 建築学部・建築学研究科「作品集」責任編集	2020年4月1日～現在	作品集のベースレイアウト案の作成および原稿作成・編集の統括を担当
2. 建築学部・建築学研究科 作品展 運営主担当	2020年4月1日～現在	作品展の展示企画の指導
3. 市立芦屋病院における岡崎甚幸教授のスケッチ展	2019年12月1日～2020年1月31日	市立芦屋病院 管理棟4階食堂前の市民ギャラリーで開催された岡崎甚幸教授のスケッチ展「イスタンブールとカッパドキアの風景と建物」の展示計画
4. 建築学科「作品集」の責任編集	2019年4月1日～2020年3月31日	作品集のベースレイアウト案の作成および原稿作成・編集の統括を担当
5. 建築学科作品展・卒業設計展 運営主担当	2019年4月1日～2020年3月31日	作品展の展示企画の指導
6. トルコ文化研究センター研究会	2017年2月15日～現在	トルコ文化研究センター主催の研究会において、配布資料準備や会場設営、HP原稿作成などの運営を担当。
7. 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 共催 東京センター 講演会シリーズ「シルクロードの文化と建築」	2016年6月14日～現在	本講演会シリーズでは、シルクロードを通して行われてきた、わが国と地中海を結ぶはるかにダイナミックで長い歴史の異文化交流とその文化遺産保護活動について考える。現在は、配布資料準備や、会場設営、HP原稿作成などの運営を担当。

職務上の実績に関する事項				
事項	年月日	概要		
4 その他				
8. 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 共催 東京センター 講演会シリーズ「わが国の近代建築の保存と再生」	2016年5月14日～現在	国登録有形文化財指定を受けた甲子園会館（旧甲子園ホテル）を大学の校舎として、また建築学科の教材として活用していることから、本講演会シリーズでは、豊かな都市環境の在り方について考える。現在は、配布資料準備や会場設営、HP原稿作成などの運営を担当。		
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 中央アジアにおける仏教寺院建築の空間構成の類型とその変容	単	2019年3月	武庫川女子大学大学院博士学位論文	本論文は2～5世紀の間に最も栄えた、中央アジアにおける仏教寺院建築の伽藍、仏塔、祠堂、僧房・僧院の空間構成の特徴を明らかにすることを目的とし、考古学的調査が行われた仏教遺跡の発掘調査報告書およびその概報などの文献調査を行なった（全155件の文献資料）。その中で分析対象として抽出した仏教寺院遺跡は100件。第1章では伽藍の空間構成の特徴およびその自然との関係を分析した。63件を対象とし、以下の9項目の分析視点により、類型化を行った。①主塔の向き、②祠堂の向き、③祠堂の配置、④僧院の数、⑤僧院の配置、⑥主塔と祠堂の関係、⑦主塔と僧院の関係、⑧祠堂と僧院の関係、⑨寺院全体の伽藍構成の形式である。特に、⑥および⑦の関係が重要な意味を持つことを示した。つぎに伽藍の立地には、「都市との関係が深く、仏教教義の実践の場というよりは仏教信仰者のための礼拝空間を主機能としているもの」「山との関係が深く、世俗から離れた聖なる場所であり、僧侶たちの実践修行に適した場所として選ばれているもの」があることを明らかにした。第2章では仏塔の形態の特徴を分析した。83件を対象として、基壇、マウンド、ドラムなど、仏塔を構成する19の主要素を抽出するとともに、それら構成要素にもとづいて、仏塔の形態を31のタイプに類型化した。それらの意味や変容について考察し、「回遊性」「軸性」「垂直性」という3つの図式が重層化していることを示した。第3章では祠堂建築の空間構成の特徴を分析した。57件を対象とし、祠堂の平面形態と、祠堂内の主な礼拝対象物（仏塔と仏像）やその配置に着目し、「礼拝対象物との対面」「軸性」「回遊性」「中心性」という4つの類型を抽出し、それぞれの意味や変容を考察した。「軸性」は「前方に仏教世界が続く」もの、「回遊性」は「宇宙の中心としての仏陀を供養する」もの、「中心性」は「周囲に広がる仏教世界に自己が内包される」ものと論じた。第4章では僧房および僧院の空間構成の特徴を分析した。33件を対象とし、僧房列、小規模僧院、大型方形僧院という3つの類型を抽出し、大型方形僧院を、貯水槽、浴室、列柱の有無により、6つの類型に分類した。そして全てのタイプの地域性や変容について考察した。結語では、各章で得られた知見をまとめ、中央アジアの仏教寺院建築の空間構成における重要な図式が「回遊性」と「軸性」であることを示した。
2. 仏教寺院に見られる図像と建築空間の東西交流	単	2016年1月	武庫川女子大学大学院修士学位論文	それぞれの地域には、固有の文化や宗教があり、それらはそれぞれに固有の図像を持っている。文化の交流により、空間と図像の関係は、他の文化に影響され、変容する。本論文では、「仏教寺院の建築空間」とそこに見られる「図像と空間の関係」が、どのような系譜によって生まれ、変容したかを、文献(邦文)調査により明らかにすることを目的とした。中央アジアにおける地上および石窟寺院とそれに影響を与えたと考えられる諸建築物についてのデータ収集を行い、諸分類・分析を行うための他の文化や宗教の建築物のデータをまとめ、データベース化した。このデータベースをもとに調査した建築物をとりまとめ、その空間構成を分析し、それを図式化し、空間構成の発展、礼拝対象と建築空間の関係、建築空間と壁画構成の関係について分析・考察を行っている。
3 学術論文				
1. The Types of Spatial	共	2021年12月	5th International	Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI This study used bibliographic surveys to elucidate the types

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
Composition of Monasteries: The Spatial Composition of Buddhist Temples in Central Asia, Part 3 (査読付)			Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Selected Papers, pp.42-53	of spatial composition of monasteries on Buddhist temple remains in Central Asia. The study subjects is 33 temples located in Central Asia and the accompanying monastic cells or monastery. The analysis of the spatial composition of Buddhist monasteries in Central Asia revealed that there were three typical spatial compositions, Mountain Vihāras, Small Monastery, and Quadrangular Monastery, of which there were six types , with most monasteries having central courtyards. It was surmised that the Buddhist monastery in Taxila was the prototype spatial composition for later Buddhist monasteries along the ancient trade routes. (全文執筆)
2. 中央アジア仏教寺院における祠堂建築の空間構成の類型:礼拝対象物の配置に着目して (査読付)	共	2018年12月	日本建築学会計画系論文集, 第83巻, 第754号, pp. 2441-2451	中村優花, 岡崎基幸 中央アジアにおける仏教寺院の祠堂建築を、建築学の立場から網羅的に考察し、その平面形態、祠堂内における主要な礼拝対象物(仏塔、仏像)および礼拝対象物の配置に着目して、祠堂建築の空間構成の特徴を分析し、空間構成を類型化した。それを踏まえ、祠堂内で行われた礼拝行為を推測することにより、祠堂建築が持つ空間の意味の変容についても考察を行った。(全文執筆)
3. The Spatial Composition of Buddhist Temples in Central Asia, Part 1: The Transformation of Stupas (査読付)	共	2017年1月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Volume 6, pp.31-43	Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI This study focuses considered on the transformation of main stupas in terms of architectural spatial components based on bibliographic surveys concerning 59 documented Buddhist temple remains (excluding cave temples) in Central Asia. We prepared a database of Buddhist remains, and analyzed the spatial composition of each temple, judging from the extracted spatial components. We divided temples into 4 types based on their spatial composition characteristics: stupas, shrines, monasteries, the other inferior complexes; we created three-dimensional spatial schemas of each type and showed visually presented the spatial compositions of temples and the forms of stupas. (全文執筆)
4. DEVELOPMENT TYPES OF BUDDHIST TEMPLES: CENTRAL ASIA AND XINJIANG UIGHUR (査読付)	共	2016年7月	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Selected Papers, pp.71-77	Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI This study reports the development types and processes of Buddhist temples in Central Asia and Xinjiang Uighur in terms of their characteristics of architectural spatial compositions, through detailed analyses of 46 ground temples and cave temples from 8 different locations. We compiled a database of Buddhist remains, and analyzed the spatial composition of each temple, judging from the extracted spatial components. Those spatial compositions are representsd in three-dimensional schemas in order to show them visually. We also made the diagrams to classify Buddhist temples into characteristic patterns and proposed the development types of Buddhist temples based on the following functions: main stupas, monasteries, shrines, shrines with another space (functions), and complexes of a monastery court and a stupa court. (全文執筆)
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. The Types of Spatial Composition of Monasteries: The Spatial Composition of Buddhist Temples	共	2019年9月	5th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road	Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI This study used bibliographic surveys to elucidate the types of spatial composition of monasteries on Buddhist temple remains in Central Asia. The study subjects is 33 temples located in Central Asia and the accompanying monastic cells or monastery. The analysis of the spatial composition of Buddhist monasteries in Central Asia revealed that there

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
in Central Asia, Part 3				were three typical spatial compositions, Mountain Vihāras, Small Monastery, and Quadrangular Monastery, of which there were six types, with most monasteries having central courtyards. It was surmised that the Buddhist monastery in Taxila was the prototype spatial composition for later Buddhist monasteries along the ancient trade routes. (全文執筆)
2. 祠堂建築の形態と構成要素についての考察：中央アジア仏教寺院の空間構成	共	2018年8月	2018年度日本建築学会大会（東北）学術講演会，学術講演梗概集 2018 [建築歴史・意匠]，pp.3-4	中村優花，岡崎甚幸 中央アジアの地上仏教寺院における祠堂の変容について、文献調査の上、平面、天井、壁の形態に着目して、空間構成を4つの類型に大別した。類型別に、どの構成要素が具体的に追加、除去、踏襲されたかを示した上で、3D図式を用い、変遷を示したフローチャートを作成。これまで文字情報でしか伝達されなかった空間構成の変遷を視覚的な手法で提示した。(全文執筆)
3. The Transformation of Shrines: The Spatial Composition of Buddhist Temples in Central Asia, Part 2 (アブストラクトの査読付)	共	2017年11月	ARCHTHEO '17 / XI. International Conference on Theory and History of Architecture, pp.96-111	Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI The aim of this study is to propose the transformation and the characteristic form of Buddhist shrines visually in terms of spatial components based on bibliographic surveys concerning 60 documented Buddhist temple remains in Central Asia. The forms of shrines have been divided into 4 types. To do more detailed division, we extracted each component from the shrines, and investigated such as planar form, wall form, roof form, and arrangement method. Based on them, the spatial composition of shrines was classified. According to this classification, we created the 3D schema which shows the form of shrines focusing on the components extracted by each shrine. (全文執筆)
4. 中央アジア仏教建築の空間構成要素に着目したクラスター分析による類型化	共	2017年8月	2017年度日本建築学会大会（広島）学術講演会，学術講演梗概集 2017 [建築歴史・意匠]，pp.823-824	中村優花，岡崎甚幸 中央アジアにおける仏教建築の空間構成要素に着目して、空間構成と形態的特徴を、クラスター分析を用い類型化した。その結果、対象地域における仏教建築は、地理・年代・機能的要因により2集団に大別することができ、またその下層の分類として、6つの類型が存在することが明らかになった。(全文執筆)
5. 構成要素の有無に着目した中央アジア仏教建築の類型	単	2017年7月	第24回 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会，pp.185-201	中村優花 地上仏教寺院に見られる構成要素を抽出し、統計ソフトウェアを用いた階層的クラスター分析によって、構成要素の視点から見た仏教建築の類型について考察し、大きく3つの類型に大別、小分類としてさらに7つに分けられると定義し、それぞれの類型について、3D図式をイメージ図として用い、提示した。さらに、寺院の類型と建造（あるいは使用）年代、地理的環境について比較考察を行い、7つの類型と時代的変遷、地理環境との関係を明らかにした。
6. The Characteristics of Spatial Composition in Buddhist Temple Remains : Focused on Central Asia and Xinjiang Uighur (アブストラクトの査読付)	共	2016年9月	Proceedings of the 11th ISAIA(第11回アジア建築交流国際シンポジウム)，pp.986-991	This study discusses the transformation of Buddhist temple remains in Central Asia and Xinjiang Uighur in terms of their characteristics of architectural spatial compositions. The characteristics of spatial compositions of ground temples and cave temples are studied and compared. After analyzing the spatial composition of them, those spatial compositions are presented in 3D schemas. Next, architectural languages are extracted as spatial components and included in those 3D schemas. As a result of dividing architectural languages into two categories, "OBJECT" and "SPACE", and carrying out a correlation analysis on the relationship between "OBJECT" and "SPACE". (全文執筆)
7. HISHAM' S PALACE の浴場の原形の復元モデルによる検討と内部空間のシミュレーション	共	2016年8月	2016年度日本建築学会大会（九州）学術講演会，学術講演梗概集 2016 [建築歴史・意匠]，pp. 699-700	川崎祐華，中村優花，山口彩，岡崎甚幸 世界遺産への登録が目指されているパレスチナのHisham' s Palace (Khirbat al-Mafjar) の浴場を対象とし、1/10の復元モデルを制作し、内部の光環境のシミュレーションを行った。そこでは、複数の小窓から自然光が薄暗い空間に入り、色彩に富んだ床のモザイクタイルに当たって乱反射し、幻想的な空間を作っていることを確

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
8. 仏教寺院の発展の類型：中央アジアおよび新疆ウイグル自治区を対象として	共	2016年8月	2016年度日本建築学会大会（九州）学術講演会，学術講演梗概集 2017 [建築歴史・意匠]，pp.703-704	<p>認した。（分析に用いた復元模型の制作や、光環境シミュレーション、提出原稿作成を担当。プロジェクトのWEBページ http://www.mukogawa-u.ac.jp/~hisham/）</p> <p>中村優花，岡崎基幸</p> <p>中央アジアにおける地上寺院、石窟寺院それぞれの空間構成について概観し、空間構成を分類した上で、3D図式を用いて、空間構成の発展の類型を示した。類型化により、中央アジアと新疆ウイグル自治区の地上寺院の空間構成は3タイプに大別できること、石窟寺院の空間構成は5タイプに大別できると考えられる。（全文執筆）</p>
9. STUDY OF THE THERMAL BATH WITHIN HISHAM'S PALACE BY UTILIZING A RECONSTRUCTED MODEL AND A SIMULATION OF THE INTERNAL SPACE	共	2016年7月	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Proceedings, pp. 17-20	<p>Yuka KAWASAKI, Yuuka NAKAMURA, Aya YAMAGUCHI, Shigeyuki OKAZAKI</p> <p>The ruins of Hisham's was believed to have been constructed in the 8th century as the winter resort. The complex consists of the palace, a thermal bath, a mosque, and a fountain pavilion. Apart from the thermal bath, all the buildings were destroyed in an earthquake in 747 A.D While the floor of the thermal bath is lined with elaborate mosaic tiles, being super structure collapsed poses a threat to the tiles because of lack of adequate protection. Thus, a simulation of the original space was used to produce a reconstructed model, which in turn would be used to design a shed capable of protecting the entire mosaic tile floor.</p> <p>（分析に用いた復元模型の制作や、光環境シミュレーション、提出原稿作成を担当）</p>
10. DEVELOPMENT TYPES OF BUDDHIST TEMPLES: CENTRAL ASIA AND XINJIANG UIGHUR	共	2016年7月	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Proceedings, pp. 29-32	<p>Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI</p> <p>This paper elucidates the development types of Buddhist temples in Central Asia and Xinjiang Uighur area through bibliographic surveys. Although there have been many smaller studies of Buddhist temples in these areas, no other study has focused on the entire region. "Development type" is defined as the type of development process with common spatial composition. (全文執筆)</p>
11. DESIGN AND FABRICATION OF ORIGAMI DOME	共	2016年5月	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Proceedings, pp. 202-205	<p>Noritoshi Sugiura, Yuuka NAKAMURA, Hiroyuki Tagawa, Tomoko Uno, Shigeyuki OKAZAKI</p> <p>Origami is representative of a traditional Japanese craft, and is a promising technique for frontier fields. In the architectural field, the folded plate structure has been applied to many long-span roofs, although they are not deployable in common. Graduate school students in the architectural design class at Mukogawa Women's University designed and fabricated a portable and deployable dome with a folded plate structure. In this paper, the following three factors are summarized: design and fabrication process, thermal performance, and structural performance of the dome. (折板型展開構造の実寸大モックアップ制作、図面作成を担当)</p>
12. シザーズ型ならびに折板型展開構造の有限要素法に基づく構造解析	共	2016年5月	平成28 年度日本建築学会 近畿支部研究発表会，56 巻，pp. 105-108	<p>田川浩之，杉浦徳利，中村優花，児玉章，岡崎基幸</p> <p>シザーズ型ならびに折板型展開構造の有限要素法に基づく構造解析手法を検討した。シザーズ型展開構造ではピボット，折板型展開構造では折れ線での一軸回転状態を適切な拘束条件を用いることで再現した。また，その手法を用いた解析実施例について述べた。（折板型展開構造の実寸大モックアップの制作、図面作成を担当）</p>
13. 阪神電車鳴尾駅におけるモザイクタイル画のデザイン	共	2015年8月	2015年度日本建築学会大会（関東）建築デザイン発表会，学術講演梗概集 2015，pp. 252-253	<p>中村優花，中野沙耶，岡崎基幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子</p> <p>兵庫県の都市計画事業である「阪神本線西宮市内連続立体交差事業（鳴尾工区）」により、武庫川女子大学の最寄駅である鳴尾駅（下り駅舎）が高架化された。2015 年3 月に下りホームが完成し、そのプラットホームに武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ一級建築士事務所と同大学院建築学専攻修士課程1年の7 名のデザイン</p>

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
				による13のモザイクタイル画が設置された。モザイクタイル画の図案制作だけでなく、タイル一つ一つを図案通りに配列し、現場で施工する一段階前の300角シート貼りまでの作業を行った。(全文執筆)
3. 総説				
4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績				
1. 甲子園ホテルの復刻版カステラの包装紙デザイン	共	2015年10月～11月	武庫川女子大学生活環境学部建築学科	岡崎甚幸, 山口彩, 田中佑奈, 中村優花, 松尾沙耶 武庫川女子大学 建築学科のキャンパスである旧甲子園ホテルの復刻版カステラ(ライト洋菓子店制作)の包装紙デザインを担当した。この販売に関する記事が各新聞社により掲載された。
2. Hisham's palaceの浴場の鞘堂設計	共	2015年6月	JICA(国際協力機構)、東京文化財研究所	岡崎甚幸, 山口彩, 川崎祐華, 中村優花, 田中佑奈, 木島未実子, 中野沙耶 JICA(国際協力機構)により委託されたパレスチナにあるヒシャム宮殿の浴場にモザイクタイルを保護するための覆屋を設計。東京文化財研究所との共同企画。岡崎教授の指導のもと、建築学科教員と協働で行なった。作成した模型・イメージパース・図面等は、東京で行われた専門家会議で岡崎教授により発表された。膜構造の専門業者との打ち合わせにも参加し、詳細部までデザインをした。設計提案4案のうち、第3案の膜構造を用いた屋根の覆屋の模型制作およびCG作成を共同で担当した。
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 5th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road	共	2021年3月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Volume 10, pp. 17-23	2019年6月24日(月)～26日(水)に、iaSUならびにバフチェシヒル大学主催、武庫川女子大学共催により、モンゴル科学技術大学(モンゴル・ウランバートル)において開催された「シルクロードを通して見た建築と文化」の第5回国際会議の活動報告書を作成。
2. Inter Cultural Studies of Architecture (ICSA) in Rome 2019	共	2020年3月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Volume 9, pp. 30-38	トルコ文化研究センターの活動の一環として、イタリア バフチェシヒル大学における海外実習についての活動報告書を作成。
3. Inter Cultural Studies of Architecture (ICSA) in Rome 2016	共	2018年5月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Volume 7, pp. 56-64	トルコ文化研究センターの活動の一環として、イタリア バフチェシヒル大学における海外実習についての活動報告書を作成。
4. The Spatial Composition of Buddhist Temples in Central Asia	単	2017年11月	トルコ・バフチェシヒル大学建築デザイン学部内	一般交流協定を結んでいるトルコ・バフチェシヒル大学建築デザイン学部に訪問し、ICSA in JAPANの参加者と、ICSAプログラムを担当する教員の前で、現在の研究内容について英語で発表を行い、研究内容について意見交換を行った。
5. 中央アジアにおける仏教寺院の空間構成の変遷: 建築空間構成要素に着目して	単	2017年1月	2016年度中央アジア遺跡調査報告会, 報告6, pp. 29-38	仏教寺院の空間構成の変遷についての研究方法、今後の課題について発表。中央アジアを拠点とした多くの研究者との意見交換を行った。発表の際に作成した配布資料は、報告会の報告書として刊行されている。
6. 研究費の取得状況				
1. 中央アジア仏教寺院における祠堂建築の空間構成の類型: 礼拝対象物の配置に着目して(査読付)	共	2018年12月	武庫川女子大学 2018年度 論文投稿助成金	
2. 中央アジアにおける古代仏教建築の構成	単	2018年4月～2018年3月	武庫川女子大学 平成29年度 科学研究	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
6. 研究費の取得状況				
要素に着目した空間構成の分析			費補助金学内奨励金	
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			
1. 2015年3月～現在	日本建築学会			